

# 証券市場新聞

1 第154号

日経平均株価  
2万2250円25銭  
▼236円67銭(前日比)  
TOPIX  
1672.98  
▼8.27(前日比)

2018  
11/12  
月曜日

発行元 ココ・パートナーズ株式会社  
〒542-0081 大阪市中央区南船場3-7-27 NLC心齋橋ビル6C  
TEL 06-6105-1904 FAX 06-7635-7861  
marketpress.jp



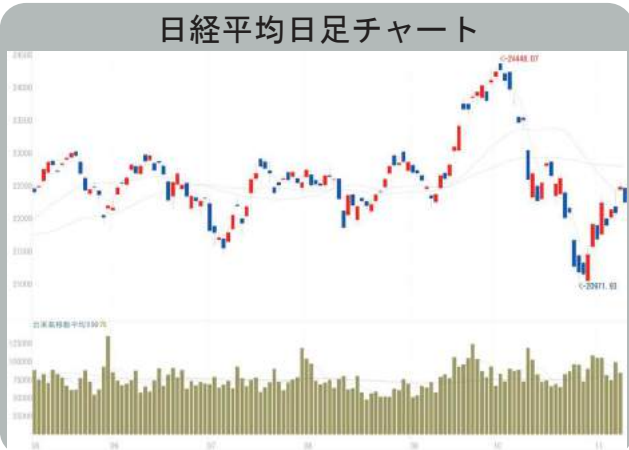
## 半導体関連に見直し余地

### 日本企業には高機能化が追い風



国内の半導体関連では  
上方修正企業も多かった  
(前期比15.3%)  
業利益で30億円から  
業績予想を36億  
3月期の連結  
3)は19年  
工業(406  
では信越化学  
その代表格  
は追い風とな  
ろう。

も一時的  
に株価が  
下落する  
場面があ  
っても想  
定以上に  
好調な業  
績は見直  
されるべ  
きだろう。



アップルが1日に  
発表した7~9月期  
決算は純利益で前年  
同期比31.8%増  
となったが、販売台  
数が前年比横ばいの  
4689万台と市場  
予想に届かなかつた  
ことがネガティブ視  
された。ただ、アッ  
プルは先にiPho

neXRやiPad  
Proで相次ぎ高  
価格品を発表して  
り量(販売量)より  
質(利益率)を重視  
していることは明確  
。グーグル自社製端  
末では高価格品を  
投入しており、質の  
追求となる。日本  
の半導体や電子部  
品企業に

リコンウェアの生  
産改善からもう一  
段の上ブレが期待  
されている。カー  
エレクトロニクス  
などが牽引の村  
田製作所(6981)  
や電池が想定以  
上に健闘している  
DK(6762)

半導体製造装置  
の周辺ではFPD  
向けを含めて工業  
用プレートを手掛  
けるタキロンシー  
アイ(4215)  
は「7~9月は落  
ち込んでいたが1  
0月からは再び増  
加に転じている」  
(南谷陽介社長)と  
しており、年間ベ  
スではほぼ期初の  
目標に到達しそう。  
高機能スマホや自動  
運転などへのニーズ  
が高く、業界全般  
的に大きな調整局  
面に入っていない。

## 信越化や村田製など

8%増)へ  
上方修正し  
たが、シ

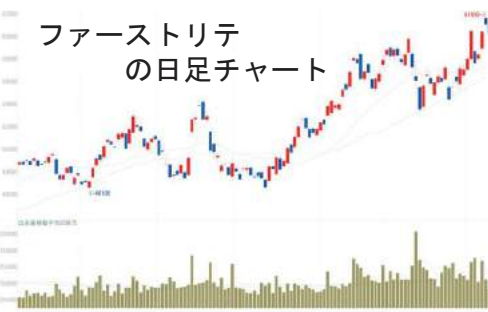
日米共にIT、ハイテク系の決算発表が出揃った。米国ではグーグルの親会社であるアルファベットやiPhoneを展開するアップルの決算が市場の期待を下回る内容だったことが全般相場の波乱の一因になったが、国内では半導体関連で上方修正も散見され、先行きに期待が持てる内容となつていくものも多い。IoTや自動運転などで社会構造が劇的に変化していくなかで、世界的に高技術力を有する日本企業に中長期的成長力は大きく、大きく売られた時価は見直し余地が大きい。

# ファストリテ、大幅反落

## 10月存店売上高2ケタ減少

週明け5日、ファストリテイリング(9983)が大幅

反落、日経平均を約100円押し下げた。国内ユニクロ売上情報で10月の既存店が前年同月比10・0%減と2ケタの減少になったことが嫌気された。気温が高く推移したことで秋冬の実需商品の需要が弱く、客数が5・5%減、客単価も4



# 今週の動意銘柄

7%低下した。

### アカツキ増益。ヒッチ加速

5日、アカツキ(3932)が一時ストップ高まで買われた。19年3月期第2四半期累計の連結決算は、営業利益53億100万円(前年同期比5・0

%増)と増益を確保したことが買い手掛かりになった。第1四半期が14億4100万円(同34・6%減)と大幅減益で着地しており、直近3カ月では38億4300万円(同35・8%増)と大幅増益になった。バンナムとの協業タイトル「ドラゴンボールZ ドッカンバトル」が好調で、M&A効果も表面化した。

### アイエスピ51%増益

5日、アイエス・ビー(9702)が急伸した。18年12月期第3四半期累計の連結決算は、営業利益6億7600万円(前年同期比51・2%増)と大幅増益で着地した。通期計画の8億円(前期比34・1%増)に対する進捗率は84・5%に達し、収益上振れが期待された。

## トヨタ通期上方修正

6日、トヨタ自動車(7203)が反発。19年3月期第2四半期累計の連結決算は、税引き前利益は1兆5488億9000万円(前年同期比23・7%増)と大幅増益で着地し、通期予想を2兆4500億円から2兆7200億円(前期比3・8%

増)へ上方修正したことが好感された。併せて総発行株の1・4%にあたる4200万株、2500億円を上限とする自社株取得枠を設定したことで、株価浮揚効果も期待された。

### ケーズHD急落し安値

6日、ケーズホールディングス(8282)が続急落、年初来安値を更新した。19年3月期第2四半期の連結決算で営業利益156億6800万円(前年同期比2・1%増)と従来予想を上回ったが、直近3カ月は95億2200万円(同39%減)とわずかながらも減益となり、通期業績の上振れ期待が後退した。

### システムソフト黒字浮上

6日、システムソフト(7527)が急騰。19年9月期の連結業績を発表、営業損益1億5000万円の黒字(前期7900万円の赤字)と黒字転換を見込んだことが好感された。

### 公開価格の2・6倍

6日、前日にジャスダックに新規上場したアクセスグループ・ホールディングス(7042)は公開価格1340円の2・6倍となる3500円で初値をつけた。広告プロモーションや新卒・若年者と外国人留学生向け採用広報、生徒募集、学校広報を手掛ける。

## 正直いいさんの株で大判小判

9日の東京市場は反落。前日の大幅高の反動から当面の利益確定売りに上値を抑えられ弱含みの展開で、上海株などアジア株安も重石になったようです。ただ、10月26日の2万1000円割れから急ピッチで戻したこともあり、調整は想定FOMCはでしたが、認されたことを注意を払い短期値幅やメルカリに人気を奪われスト(3996)7)など先駆し、物色の流れされましたが、る動きで、杞憂りました。2Q決算が出揃ったことで、週明け以降はアナリストレポートに反応する動きも出てきそうです。 花咲翁

## アナリスト銘柄にシフトか

取り候補ではそーせいなど新興市場の主力株るかたちで、サインポやチームスピ(439)や小型成長株が伸び悩が変化することが警戒後場からは急速に出直に終わ



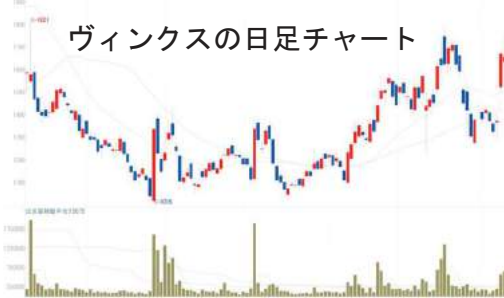
転ばぬ先のテクニカル

ドル高の悪影響

10月31日以降、鯨幕相場が続いています。先週は2勝3敗で負け越しですが、一時は2万2583円までリバウンドし、25日線を突破して75日線に迫りました。10月高値以降の下落幅の半値戻しに接近しましたが、米FOMCでは12月利上げが確実視されて長期金利が上昇したことで、ドルの名目実効レートが33年ぶりの高値に上昇。そのため週末は新興国市場が崩れたことで、日経平均は往って来いとなってしまいました。

基本シナリオは2万2800円程度へのリバウンドとしていますが、2万2500円近辺の52週線が戻り売りの目処となるのかもしれませんが。高値から33日目となる今週金曜日に変化日であり、ここからは無理をせず、好決算銘柄だけに絞込み、相場のアヤで突っ込んだところを買い向い、嘖き値では爪を伸ばさないことが肝心でしょう。

日々勇太郎



今週の動意銘柄

8日、東芝(6502)が後場急伸。自己株式取得枠の設定を発表した。上限2億6000万円(発行済株式総数に対する割合40%)、または7000億円で、11月9日から19年11月8日まで。

東芝40%の自社株買

8日、東芝(6502)が後場急伸。自己株式取得枠の設定を発表した。上限2億6000万円(発行済株式総数に対する割合40%)、または7000億円で、11月9日から19年11月8日まで。

9日、レック(7874)が急反落。19年3月期2Qの連結経常利益18億6800万円(前年同期比10.2%減)と計画を下回った。ケタ減益で着地した。

レック下振れケタ減益

9日、レック(7874)が急反落。19年3月期2Qの連結経常利益18億6800万円(前年同期比10.2%減)と計画を下回った。ケタ減益で着地した。

A&Dストップ高

子会社ホロン好調で上方修正

売上高を473億円(前年比193%増)、営業利益を27億円(前年比11.7%増)へ。子

7日、イー・デ(7748)を中核に半導体機器関連や計測・制御システムが19年3月期の業績を上方修正した。通期予想

りらいあ急落し安値

7日、りらいあ(4708)が急落。年初来安値を更新した。19年3月期の連結業績予想について、売上高を111億5000万円(前期比21.2%増)、純利益は5億

8日、ヴィンクス(3784)がストップ高。18年12月期第2四半期累計決算を発表。売上高は129億1600万円(前年同期比1.0%増)、営業利益は7億6100万円(同5.3%増)、純利益は3億5000万円(同0.2%増)へ。純利益を38億

ヴィンクス上振れ期待

8日、ヴィンクス(3784)がストップ高。18年12月期第2四半期累計決算を発表。売上高は129億1600万円(前年同期比1.0%増)、営業利益は7億6100万円(同5.3%増)、純利益は3億5000万円(同0.2%増)へ。純利益を38億

サンデン通商政策影響

8日、サンデンホールディングス(6444)が反落、年初来安値を更新した。19年3月期の連結業績予想について、営業利益を70億円から30億円(前期比45.1%減)へ下方修正、年間配当も20円から無配(前期無配)に下方修正した。米中を中心とした通商政策などの影響で販売が減少する。

セーレン増額と自社株買

週末9日、セーレン(569)が急伸。19年3月期の連結業績について、純利益を77億円から84億円(前期比21.2%増)へ上方修正した。車輻資材やエレクタロニクスが想定を上回り、為替差益、投資有価証券売却益の発生などが寄与。加えて上限500万株(発行済株式総数に対する割合8.4%)の自己株式取得枠の設定も発表した。

## ～決算情報～

**英和**

### 第2四半期95%営業増益 設備投資需要取り込み販売好調

英和(9857)の19年3月期の第2四半期累計(4～9月)連結決算は売上高で162億5100万円(前年同期比12.2%増)、営業利益で4億5800万円(同94.8%増)、純利益で3億1200万円(同86.1%増)と大幅な増収増益となった。

プラント・エンジニアリング会社向けの販売が減少したものの、前期から続く生産設備の高稼働状況を背景とした設備投資やリプレイス需要が堅調な社会インフラ、化学品製造業、機械製造業、船用機器製造業、電力会社を中心に販売が好調に推移している。

通期は売上高355億円(前期比3.3%増)と従来見通しを据え置いたが、11月1日に営業利益を12億円(同12.8%増)、純利益を7億5500万円(同3.0%増)へ上方修正している。

**立花エレテック**

### 2Qは計画超で過去最高 年間配当46円に4期連続増配へ



渡邊武雄社長

立花エレテック(8159)の19年3月期第2四半期累計の連結決算は、売上高902億2400万円(前年同期比8.8%増)、営業利益32億2700万円(同18.2%増)と計画を上回り過去最高を更新。決算発表の席上、渡邊武雄社長

は「FAシステム、半導体デバイスとも好調で10月に初出展したCEATEC JAPANの反響も大きかった」とした。

通期は売上高1820億円(前期比2.1%増)、営業利益64億5000万円(同0.9%増)と過去最高予想を据え置いた。中間配当は当初予想の22円から24円(前年同期16円)へ引き上げ期末の22円(同24円)と合わせて年間配当は46円へ4期連続で増配する。

**大和ハウス工業**

### 通期最終利益引き上げ増配 2Qダンパー問題吸収し増収増益

大和ハウス工業(1925)の19年3月期第2四半期累計の連結決算は、売上高1兆9833億2600万円(前年同期比9.6%増)、営業利益1895億8600万円(同5.1%増)、最終利益1314億8100万円(同6.4%増)と増収増益を確保。免震・制振用オイルダンパー不正問題の影響でマンションが伸び悩んだが「商業施設や事業施設の好調で吸収した」(芳井敬一社長)としている。

通期は売上高4兆500億円(前期比6.7%増)、営業利益3540億円(同2.0%増)と従来予想を据え置いたが、有価証券売却益を計上することで、最終利益を2370億円から2400億円(同1.5%増)に上方修正。期末配当を57円から60円に引き上げ、年間配当を110円(前期107円)へ増配する。併せて、230万株の自社株買いも発表した。

**あじかん**

### 為替差益で18%最終増益 2Q外食など新たな業態へ攻勢

あじかん(2907)の19年3月期の第2四半期(4～9月)連結決算は売上高216億9900万円(前年同期比5.1%増)、営業利益4億1400万円(同17.8%減)、純利益4億1000万円(同18.1%増)だった。

新規エリアにおける拡販体制をさらに強化し、外食業態やベーカリー市場など、同社としては新たな業態に向けての販売促進活動にも注力。つくば工場(17年11月29日竣工)の稼働に伴い減価償却負担や諸経費が増加しているが、デリバティブの時価評価益や、為替差益などが純利益を押し上げている。

通期は売上高455億円(前期比5.9%増)、営業利益12億5000万円(同4.1%増)、純利益8億円(同6.7%増)と従来見通しを据え置いた。

## ～決算情報～

### 大森屋

## 今期は10.3%営業増益 コスト削減など経営効率向上に注力

大森屋（2917）の今年9月期の連結業績は売上高で181億5000万円（前期比2.0%増）、営業利益で4億9500万円（同10.3%増）、純利益で3億2000万円（同49.4%減）を見込んでいる。

18年9月期連結決算は売上高177億8600万円（前の期比6.7%増）、営業利益4億4800万円（同2.2倍）、純利益6億3200万円（同7倍）と大幅な増益だった。

家庭用海苔では、一部製品価格の値上げを実施し、業務用海苔も、既存取引先での販売が増加。純利益は、固定資産売却益や投資有価証券売却益などの特別利益を計上しており、今期はその反動で減益となる。

引き続き製造コストや販売促進費を中心とした経費の削減に注力し、経営効率の向上に取り組む方針。

### 三社電機製作所

## 2Q計画を上回り通期増額 高採算品伸び原材料コスト高吸収

三社電機製作所（9697）の19年3月期第2四半期累計の連結決算は、売上高117億8300万円（前年同期比0.2%増）、営業利益8億5300万円（同53.5%増）と利益が計画を超過し、大幅増益で着地。通期について売上高は248億円（前期比4.6%増）と



吉村元社長

ほぼ従来予想通りながら、営業利益を17億円から18億5000万円（同25.5%増）へ上方修正した。

2Qはパワー半導体が堅調に推移、リチウムイオン電池製造向け電源などが伸び、為替差益も収益を押し上げた。通期も「高採算製品への機種構成の変化で原材料コストアップを吸収して利益が拡大する」（吉村元社長）。

## 購読会員募集中！

証券市場新聞では、購読会員を募集しています。

高野恭壽の  
株式情報 **これでどや!!**

大阪で600人越えの集客を記録、アンケート調査で「是非聞きたい講師」全国第1位  
人気株式評論家 高野恭壽の株式マガジン！

<https://marketpress.jp/kabu-takano/>

証券市場新聞 公式メールマガジン

優良銘柄に加えて新興銘柄のタイムリーな限定情報が満載！

<https://www.mag2.com/m/0001678061.html>

# チャート から読む 騰落銘柄

## セガサミーHD(6460)



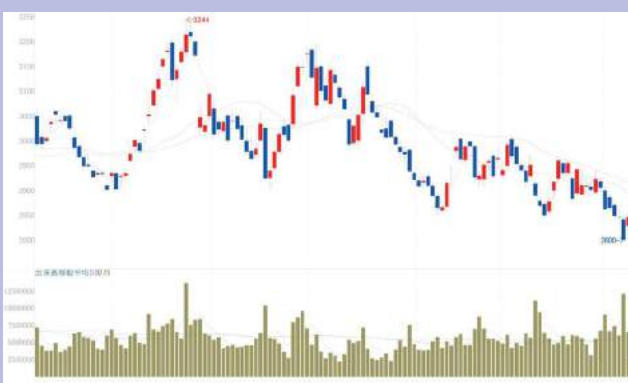
10月26日の年初来安値1424円を底に反騰、25日と50日線を一気に上抜いたことで、8月下旬からのもみ合いゾーン1800円前後の突破が期待される。遊技機事業の下期回復で通期上振れ期待。

## ハリマ化成G(4410)



好決算発表を受け急伸のあとも上値を伸ばす。日足が陽転し大勢上昇トレンドを確認。日足一目均衡表の雲上限を一気に突き抜け、急上昇してくる5日線を下値支持に、年初来高値1024円奪回から一段高へ。

## JT(2914)



11月7日に2800円まで下落し、落ち着く気配ない。3月23日の年初来安値2784.5円を下回れば2012年の安値2200円～2400円あたりまで下値のフシがない。3Q減益で業績不安継続。

## アシックス(7936)



今12月期下方修正を嫌気、急落のあとも戻りは鈍く、年初来安値圏で底這いが続く。1500円を割り込んだことで、下値にフシ目が見当たらず、急降下してくる5日線に上値を抑えられ一段安も。

## 潮流

# 全てにおいて負の作用 ヘッジファンドの存在意義



今年、最も注目された米中間選挙が終わった。結果は予想通りで、与党共和党が上院の過半を維持した一方、民主党が下院で過半を奪回した。議会上下院で多数派が異なる「ねじれ議会」となる。

「ねじれ」は政策停滞への懸念につながる負の作用がある反面、トランプ大統領の強硬な貿易戦争を和らげるプラスの面がある。また、トランプ大統領と共和党は選挙戦の最中、大型減税の第2弾として中間層向けの追加減税を主張していた。しかし、下院での敗北を受けて実現が厳しくなり、一段の財政悪化が避けられることもプラスとして株式市場は捉えた。

中間選挙の結果を受けた7日の米国株式市場でダウ工業株30種平均は545ドル(2.1%)高の2万6180ドルと、10月9日以来ほぼ1カ月ぶりに節目の2万6000ドルを回復した。ハイテク株の比率が高いナスダック総合株価指数は194.79ポイント(2.6%)高の7570.75ポイントと10月17日以来の高値で終えた。ダウ平均はこの日の上昇で10月29日の安値から1700ドル強上昇し、10月3日の最高値からの下げ幅(2385ドル)の7割強を取り戻した。過去最高値まで650ドル弱に迫っている。年内にも史上最高値更新

ネクステージの日足チャート



今年、最も注目された米中間選挙が終わった。結果は予想通りで、与党共和党が上院の過半を

となるだろう。また、1952年以降、中間選挙があった次の年の米株式を見ると、共和党の大統領とねじれ議会という組み合わせでは上昇率が19.9%にもなっている。

急激な方針転換のリスクが高まる

よりも、現状維持のほうが市場にとっては安心というわけだ。中間選挙後の米国株急上昇を受けた8日の日経平均は401円高の2万2486円と大幅上昇して終えた。重要なテクニカルポイントである25日線(2万2364円)や200日線(2万2382円)を上回った。26週線(2万2638円)を超えて終わればブル相場入りだ。日経平均は10月26日の安値(2万971円)が大底になったことがはっきりした。また、10月の投資部門別売買状況では、海外投資家が現物と先物の合計で4兆2572億円の大規模売り越しだった。つまり、10月の大幅な株安を引き起こしたのは海外投資家(主にヘッジファンド)であるということだ。ヘッジファンドの存在自体が株式市場や経済など、全てにおいて負の作用しかない。

潮流銘柄はネクステージ(3186)、UUUM(3990)、VALUENEX(4422)。



岡山 憲史氏(株式会  
社マーケットバンク代  
表取締役)のプロフイ  
ル

ら優勝。直近では2017年1月に始まった夕刊フジ主催の「株・1グランプリ」において優勝。1カ月間における3銘柄の合計パフォーマンスでは155%と断トツの結果。週刊現代、週刊ポスト、夕刊フジ、ネットマネー、月刊カレントなど幅広く執筆活動を行う。現在、個人投資家に投資情報サービスを行う。http://marketbank.jp

約1万人の参加者の中から1999年2月日本初の資産運用コンテスト「第一回S1グランプリ」にて

## 10月海外投資家大幅売越し

# 調整後に上値目指す

## 高野恭壽の株式情報 **これでどや!!**

株式市場新聞の名物コーナーが復活!



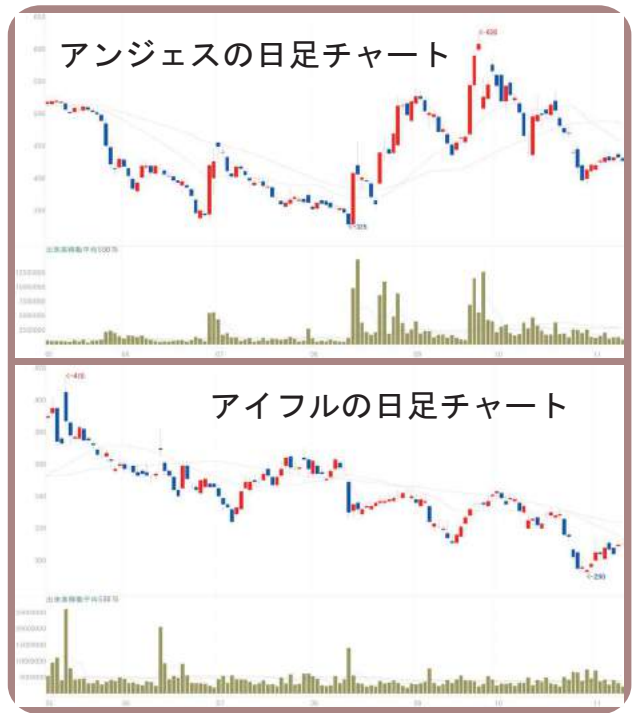
**高野恭壽(たかのやすひさ)氏** 1949年生まれ、大阪府出身。株式市場新聞大阪支社長、株式新聞社大阪本社代表を経て株式評論家として独立。講演会のほか、ラジオ大阪「タカさんの新鮮・株情報」をはじめTV、ラジオに多数出演。「株式投資30カ条」など著書も執筆。

注目されていた米中間選挙が通過しました。7日の東京市場は、民主党が下院で過半数を制したこと、米国の株式の反応を見たい

ために、引けにかけて急速に下げる結果となり、米国の株式は懸念するほどの結果にはならず、ダウで545ドル超の大幅高となり、8日は仕切り直しで日経平均は400円超上昇し、2万2580円まで戻す場面がありました。9日の日経平均は小動きの寄り付きとなつていますが、10月末の2万1000円程度から割れから15

## 2万3000円回復に期待

したことで一旦は調整があると見ています。民主党の下院勝利には賛否両論がありますが、これまでトランプ大統領の過激な行動には疑問を持つことが多々ありましたので、それが抑制される意味ではポジティブに考えています。その後のFOMCは利上げ方針を含めてこれまでの方針が確認されました。為替は1ドル114円を付ける場面があり、円安基調が継続されています。外資系の売り一巡から全般は落ち着きを取り戻しており、調整一巡後は2万3000円を目指す動きを想定しています。さて、アンジェス(4563)はもみあい状態が続いています。が、そろそろ上値をとってくるタイミングが近づいたものと思われま



自動車株については上値の重い銘柄もありますが、トヨタ(7203)、スズキ(7269)、ホンダ(7267)の押し目は拾う作戦でいいとみています。新規狙いではクセの悪い動きが続いていましたJAL(9201)も注目できそうです。アルプス電気(6770)も穴株として要マーク。アイフル(8515)は金融株が売られた影響で軟調な場面があり、反落しました。しかし、310円台は来週発表の好決算前で拾える位置とみており、引き続き注目をしておきたいと思

高野恭壽公式ホームページ  
高野恭壽の株式市場情報  
これでどや!!  
<https://marketpress.jp/kabu-takano/>  
毎日情報を配信中!



# 星野三太郎の 株街往来

## ～ハロウィーン～

年間行  
 事として日本でも定着したハロウィーンが今年も10月31日にテレビや新聞、ネットなどのニュースで賑わいを見せた。おそらく、メディア的には、大きな波乱になったほうがトップニュースとして取り上げ易いと思うが、その期待通りか東京の渋谷では逮捕者が続出したとして、夜のニ



ースで時間を割いて伝えていた。ハロウィーンの起源はともかくとして、周囲に迷惑をかけずに皆で楽しく仮装をすれば問題は無い。そういう意味では我々メディアは健全な方向へ導くような報道をすべきと思っている。渋谷は現地の状況を直接見ていないが、大阪の心斎橋では道頓堀川にダイブする無茶な人は一部にいたものの、渋谷のような鬼気迫る状況にはならなかった。翌朝には仮装でハロウィーンに参加した若者がごみ拾いを行う光景も紹介されていた。東京と関西人では参加規模や地域住民の気質が異なり比較はできないが、行儀良く参加している若者も積極的に紹介すべきだろう。景気が良くなったと言われているが、閉塞感が強い世の中だ。ストレス発散でバカ騒ぎが出来ない年齢になった筆者には参加できる若者はウラヤマシイ。



## USJ 関ジャニ8も大感動！ 冬のWセレモニー クリスマスー8年連続ギネス世界記録を更新

### 企業レター



「関ジャニ8」がサプライズで登場

ダー・クリスマスー8年連続ギネス世界記録を更新

ユニバーサル・スタジオ・ジャパンは、11月7日に冬の期間限定イベント「ユニバーサル・ワールド・オブ・ハリウッド」では、エリア「ポッター」では、エリア「ホグワーツ・マジカル・ナイト」が17時55分頃、ついに解禁となった。ショー終了後には、パーク開業以来初となるクリスマス・アンバサダーに就任した「関ジャニ8」がサプライズで登場した。「関ジャニ8」がサプライズで登場した。この世界最大の冬の魔法で彩られたホグワーツ城をバックにフォトセッションを行った。その後、18時50分頃、10年目の今年、ついにフィナーレの年をスタートさせるクリスマス・ライブショーのシリーズ最終章「天使のくれた奇跡Ⅲ」The Voice of an Angel」が幕を閉じた。

ショー終了後に「関ジャニ8」がサプライズで登場すると、会場は割れんばかりの拍手と歓声が沸き起こり、感動から一転、笑顔が広がった。メンバーの村上信五さんからはユニバーサル・スタジオ・ジャパンの冬の冬のシンボルであるクリスマスツリーが8年連続で電飾数世界最多のギネス記録を更新（58万806個、2018年10月23日現在）したことが発表され、「ありがとう！」と叫ぶメンバーもいるほど、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンが誇る、クリスマス・エンターテイメントを満喫した。

サプライズで登場  
この世界最大の冬の魔法で彩られたホグワーツ城をバックにフォトセッションを行った。その後、18時50分頃、10年目の今年、ついにフィナーレの年をスタートさせるクリスマス・ライブショーのシリーズ最終章「天使のくれた奇跡Ⅲ」The Voice of an Angel」が幕を閉じた。



敏腕先物ディーラー  
**ハ千ロク**の裏話

戻り一服か?

下値固められるかに注目

注目された米  
国中間選挙は大  
方の予想通り  
「上院は共和党、  
下院は民主党」  
の勝利となり、トランプ氏  
曰く「大成功」となった。  
開票が行われる時間帯はア  
ジア市場は開いているため  
開票速報が伝わる度に上下  
に振れるパワー相場が横行  
した。前場には2万244  
0円の高値まで入っていた  
が、後場の引け前には2万  
1980円まで下落し上下  
で460円幅動く激しい相  
場展開であった。しかも、

選挙の結果を受けてその日  
の日経平均は61円安とな  
ったのだが、翌日にはNY  
高の影響を受けて400円  
高と理解に苦しむ動きとな  
っていた。  
11月のSQ値は2万2  
469円47銭と波乱の1  
0月SQ値(2万2313  
円75銭)よりも上で決定  
した。どうやら2万250  
0円を意識したSQ絡みの  
売買で上昇した感じがして  
ならない。今週は下値を固  
められるかに注目したい。  
今回の下落は2月の下落場  
面と似ていると以前この欄  
で指摘したが、2月相場で  
は安値を付けた14日から  
戻り高値を付けたのは27  
日となっている。この間9  
日間。これを今回に当ては  
めると9日目は11月8日  
の高値(2万2583円4  
3銭)となる。2月の時は  
その後1週間で約1500  
円下落したが、今回も警戒  
は必要である。今回も警戒  
の2万2188円処、今回

の戻りの38・2%押し  
2万1968円、転換線の  
2万1809円があげられ  
よう。転換線を終値で明確  
に割つてくると2番底探し  
の展開となる。一方、上  
値は今回の下落の50%戻  
しの2万2710円、この  
水準は週足の転換線、基準  
線と重なり、抜いてくるか  
どうか重要な水準である。  
抜いてくると2万3000  
円を目指す展開が期待でき  
よう。  
8日のFOMCで12月  
の利上げは確実視されてお  
り、米国の長期金利の上昇  
懸念が再度浮上してきた。  
現在は3・2%前後だが、  
中間選挙も終わり危険水準  
とされる3・5%に急上昇  
する可  
能性も  
残る。  
中間  
選挙後  
の相場  
は高い  
という  
アノマ  
リアは  
あるが  
楽観は  
できない  
。ハ  
チロク

今週のスケジュール

- ・ 9日 米10月生産者物価(22:30)
- ・ 11日 米口首脳会談(パリ)
- ・ 12日 10月国内企業物価指数(8:50)
- ・ 13日 独11月ZEW景況感指数(19:00)
- ・ 14日 7-9月期GDP(8:50)  
9月第三次産業活動指数(13:30)  
中国10月鉱工業生産、中国10月  
小売売上高、中国10月都市部固  
定資産投資(11:00)  
米10月消費者物価(22:30)
- ・ 15日 10月首都圏新規マンション発売  
(12:00)  
米10月小売売上高(22:30)
- ・ 16日 米10月鉱工業生産・設備稼働率  
(21:30)

編集後記

「注文をまちがえる料理  
店」が関心を集めているこ  
とをご存知だろうか。ウエ  
イターが認知症を抱える人  
というコンセプトのレスト  
ランやカフェで、認知症の  
人とそうでない人が触れ合  
える空間をつくらうと企画  
された。プロがボランティア  
アで料理や管理をしており、  
実際にオーダーミスはない  
が、客は注文した料理が来  
るように、ウェイターをフ  
ォローすることから、会話  
が大いに盛り上がるという。  
米自国第一主義に世界が  
揺れるなか、寛容さに安心  
感を覚えるのは筆者だけだ  
ろうか。

【ご注意】証券市場新聞は投資の参考になる情報提供を目的としており、投資の勧誘をするものではありません。記事には業績や株価、出来事について今後の見通しを記述したものが含まれていますが、それらはあくまで予想であり、内容の正確性、信頼性、予測的的確性を保障するものではありません。当紙が掲載している情報に基づく投資で被らねたいかなる損害について、当社と情報提供者は一切の責任を負いません。投資についての決定はすべてご自身の判断、責任でお願いいたします。